

小型座学 5月分課題

以下の内容は例年、第1回目の授業で説明している「小型船舶の免許・学科試験についての説明」になります。内容にしっかりと目を通して、自身が取得しようとしている免許がどういった免許なのか、学科試験の内容はどういったものなのか、しっかりと頭に入れて下さい。

1・1級小型船舶操縦士免許について

(1) 1級小型船舶操縦士ってどんな資格？

総トン数20t未満の船舶を操縦できる資格で、全ての海域を航行できる。
ただし、沿海区域（海岸から20海里）の外側80海里以遠を航行する場合は、資格を持った機関長が同乗する必要がある。

(2) 免許が取得できる年齢

1級小型船舶操縦士・・・18歳

特殊小型船舶操縦士・・・16歳

ただし、受験資格は満18歳、満16歳の3ヶ月前からある。

(3) 有効期限は？

有効期限は5年間、4～5年目にかけての1年間で更新講習を受ける。
受けなければ免許は失効してしまう。ただし、失効再交付手続きと講習を受ける事で、免許証の再交付を受けられる。

(4) どんな試験を受けるの？

パスしなければならない項目は3つある

- ① 健康診断 ②筆記試験 ③実技試験

(5) 費用はどれ位かかるの？

個人で取得・・・¥100,000前後

海国で取得・・・¥30,000前後（健康診断等全て含む）

実物大「1級小型船舶操縦士免許証」→

健康診断・筆記・実技にパスすると交付される。海国の場合、免許証が手元に届くのは、卒業式後の3月の終わり～4月の頭位になる。



2・筆記試験について

(1) 筆記試験の範囲

①学科教本Ⅰ・・・一般（二級小型船舶操縦士の範囲）

②学科教本Ⅱ・・・上級

一般 + 上級 = 一級小型船舶操縦士の範囲

(2) 科目別出題数

受験科目は全部で5科目あり、出題数の内訳は以下の通りです。

一般・・・①操縦者の心得及び遵守事項：12問

②交通の方法：14問

③運航：24問 計50問

上級・・・①上級運航Ⅰ：8問

②上級運航Ⅱ：6問 計14問 合計64問出題

(3) 合格基準

科目別で50%以上、一般・上級それぞれの合計点で65%以上

具体的には・・・

一般 ①操縦者の心得及び遵守事項：12問 6問以上

②交通の方法：14問 7問以上

③運航：24問 12問以上 一般で33問以上

上級 ①上級運航Ⅰ：8問 4問以上

②上級運航Ⅱ：6問 3問以上 上級で10問以上

つまり、「③運航」で24問、「②交通」の方法で14問、合わせて38問正解しても「①操縦者の心得」で6問以上の正解がなければ不合格となる！

(4) 部分合格はあるのか？

科目合格は無いが、「一般のみ合格」「上級のみ合格」はある。

一般のみ合格した場合は、追試で「上級のみ受験する」事になる。

☆課題に関する諸連絡

※4月分の課題（教科書読み込みと問題演習）については、引き続き進めてください。ただし、指定された範囲より先には進める必要はありません。

※次回の課題、もしくは学校再開後に4月分課題の確認小テストを行います。

※課題の範囲であっても、学校再開後は授業でしっかりとおさらいをします。